

みんなで創ろう コウノトリの里 プラス

今回のテーマは、

～無農薬田んぼで新米を収穫！～

Vol.11

です！

本市がコウノトリをシンボルとして進める「人にも生きものにもやさしいまちづくり」を紹介するコーナーがパワーアップ。この取組を支える「ひと」にスポットを当て、旬な話題をご紹介します。

問い合わせ／地域活性化特命チーム（内線2112）

小谷小学校の5・6年生が稲刈り体験（10月12日、小谷地内の小林農園にて）

稲刈り体験をした田んぼは、アイガモ農法を取り入れ、農薬を使わずにお米を作ることができる環境にやさしい田んぼです。

児童たちは、田植えやアイガモの放鳥も体験し、稲の成長を楽しみに見守っていました。

このような環境にやさしい農業が市内に広がっていくことが、人にも生きものにもやさしいまちづくりにつながっていきます。収穫したお米は、11月12日の小谷小まつりで保護者や地域のみなさんとおしくいただきました。



◀▲稲を刈って稲木に干しました



インタビュー

小谷小学校6年 ほり まゆか 堀 真佑夏さん（写真左）

自分たちで田植えをしたお米なので、今日の収穫を楽しみにしていました。お米作りを体験して、食べ物を作る農家さんの大変さがわかりました。小谷小まつりでは、感謝しながら食べたいです。

小谷小学校5年 さとう ながれ 佐藤 暢流さん（写真右）

初めての稲刈りで、鎌を使うのが最初は難しかったけれど、だんだん慣れてきました。アイガモが雑草を食べしてくれるおかげで、除草剤を使わずにすみました。虫や生きものとふれあうことのできる田んぼを大切にしていきたいです。

インタビュー

学校応援団 お米づくりの先生 こばやし よういち 小林 洋一さん

アイガモ農法による無農薬の有機栽培で、安心・安全なお米を食べてもらいたいという気持ちで作っています。

小谷小学校の稲刈り体験は、20年以上も続いており、子どもたちは、田植えをした稲の成長を登下校の際に見守ってくれていました。自分たちで稲刈りしたお米は、より一層おいしく感じられると思います。



ひなちゃんニュース



こども動物自然公園の出張授業（10月14日、大芦小学校にて）

埼玉県こども動物自然公園の高木副園長（獣医師）と松野飼育係をゲストティーチャーとして招き「コウノトリ」を題材とした出張授業を行ったよ。今年度からはじまったこの取組は、小谷小学校に続いて2校目。コウノトリをはじめ、たくさんの生きものが生息できる自然環境の大切さについて学んだよ。授業を受けた6年生は「コウノトリもすすめるような自然環境を大切にしていきたい」と振り返ったよ。今回の授業の様子は、テレビや新聞等でも紹介されたよ。

